

テットーひろば 2022 春号

発行：NPO法人野沢3丁目遊び場づくりの会

テットーで“どろデビュー”、しませんか？

どろあそびあれこれ

テットーひろばで大人気の遊びのひとつ「どろあそび」。

きたない！よごしてほしくない！洗うのたいへん！…と、親のホンネがぼろり。

みんなは、どろあそびをどんなふう考えてるんだろう？



わたしの思い「子どもとどろあそび」



子どもがどろんこになる中で学べること（運動能力の向上や生物への関心など）があるとと思うので、今の時期はそれを優先させたいな～！（4歳と2歳のママ）



どろ遊びは普段できないし、そもそもできる場所もあんまりないから、テットーひろばの環境はありがたいです。（6歳のパパ）



触ればザラザラ、水に溶けてトロトロ、固めたり、崩したり、どろは砂にはない魅力がいっぱいだなーって思います。（2歳のママ）



できるだけ「やめろ」と言わないようにしてるなあ。そのぶん3回転できるほど着替えを持っていくようにしてるけど。（8歳と5歳のパパ）



子どもより大人が汚れてもよい服装で行くことが大切だと思う。どろ遊びを汚いと思わないように大人も一緒に遊べたらいいね。（10歳と8歳のママ）



テットーは赤ちゃんから小学生まで、自分のペースでどろあそびできる。ハダシで思いっきり遊べる環境をつくるために、日々の点検が欠かせません。（プレーリーダー）



「テットーに行ったらどろんこになるもの」と思っているので、白ではなく黒っぽい服や着古した服を選んでます。テットーバザーで外遊び用の服を調達してます。

汚れた服は子どもたちが体を洗ったあとの残り湯で、ウタマロ石けんと木の洗濯板で洗ってから洗濯機に入れています。

フルの着替えを2セット、手ぬぐい、ビニール袋を常備しています。それがあるだけで、子どもの急な遊びたい欲求を止めなくて済みます。

テットーのママ・パパに聞いた！ どろんこ対策の あれこれ

疲れて帰って、どろどろの服を洗うのは結構しんどいけど、お風呂に入るついでに子どもと一緒に手洗いするのも楽しい。2歳の子どももゴシゴシして楽しんでいます。

どろ汚れがすごくよく落ちて、持ちやすいブルースティックという石けんを使って、ゴシゴシ洗ってから洗濯機で洗っています。

靴が汚れると帰りが大変なので、早めに靴を脱がせて長靴を借りて、あとは自由に遊ばせています。



テットーくんのまめちしき

万が一、着替えを持ってきてなくても、テットーには貸出できる着がえがあるよ。
さらに温水シャワーがあるので、どろどろのまま帰る心配もないね♪

これって知ってる？

テットーひろばのあゆみ

～第2回・「試行錯誤の基盤づくり」編～

テットーひろばは、2022年4月に開園20周年を迎えました。

これまでのあゆみを、3回にわけて紹介しながら振り返ってみたいと思います。

第2回の今号は、『テットーひろばが生まれたあと、どのように場づくりしていったのか?』。

その、ほんの一部分にふれてみたいと思います。

●基盤づくりにむけて、まずは助成金！



2004年頃のテットーひろば

オープン当初は毎週水曜のみの開園で始まったテットーひろばですが、当時は野原のような敷地の真ん中に真新しい建物がポツンとあるだけでした。

「備品や遊具をもっと増やしていきたい」「場づくりをしていくプレーリーダーがほしい」など持続可能な運営への思いは強まる一方、基盤づくりをするほどの活動資金はなく、その望みを助成金につなげることにしました。

2002年度から世田谷まちづくりファンドの助成を受け、道具箱や木材・ペンキなどの資材、室内の本棚などを揃えました。2003年8月より毎週水曜・土曜日の週2日開園となり、常駐のプレーリーダー1名を置くことができました。

2007年度には、これまで「みどりのやね」にあったトイレを屋外に移設し、室内から裏ウッドデッキへ移動できるよう整備しました。この整備によってひろば内の見晴らしが改善され、現在のような風が吹き抜ける気持ちのよい空間になりました。

●遊び場をつくっていくための試行錯誤

テットーひろばの立ち上げから運営に携わる広吉敦子さん、塚本重美さんに、「これまでの活動の中で印象に残る苦難や葛藤は何ですか?」という質問をしました。

すると、「どうしたらお金が集まるのか頭を抱えていた。助成金の申請をするために書類を作成して、期限までに提出して、落選したものもあって、その繰り返しだった」と口を揃えていました。

助成金に頼るだけでなく自主的な財源も確保していくため、2002年5月より「テットーバザー」が始まりました。地域住民や来園者から寄贈された品々を販売し、その収益を運営費に充てました。子どもの衣類やおもちゃを介して人と人、場と地域がつながっていくこのイベントは、第1回の開催以降、現在も貴重な機会として春と秋に開催しています。

●週5日開園とNPO法人格の取得へ

2007年10月に世田谷区おでかけひろば事業として認定されました。週2日から週5日の開園へ大きく舵をきり、新たな備品のほかプレーリーダーとスタッフを配置して常時2名体制をとることができました。

その後も持続可能な運営をしていけるよう、2010年2月にNPO法人格を取得し、これまでの実践の積み重ねにより、安定した運営ができるようになりました。“来園者から運営側へ”という誰もが運営に参加できるスタイルのもと、テットーひろばの運営は、子育て真最中あるいは子育てが終わった親を中心とした地域の大人によって行われてきました。



初代すべり台、ピザ窯、藤棚ウッドデッキなど、すべて助成金で作られました。

つづく・・・

これって知ってる？

テットーひろばのあゆみ

～第3回・「来園者主体の活動」編～

テットーひろばは、2022年4月に開園20周年を迎えました。

これまでのあゆみを、3回にわけて紹介しながら振り返ってみたいと思います。

第3回の今号は、『みんなの「やってみたい」思いが、テットーひろばと親子をつないだ！?』。

その、ほんの一部分にふれてみたいと思います。

●ママたちの思いで始まった1年間の体験プログラム

2015年、都会で暮らす子どもたちにお米作りを体験してもらいたい、という思いのもと『こめつ部』という有志活動が始まりました。千葉県富津市にある田んぼを利用して、田植え・草取り・稲刈りのプロセスを稲の生長とともに楽しみ、実際に身体を動かして農家さんの苦勞を知ることを1年間のプログラムとして行いました。この活動は世田谷区子ども基金の助成を受けて実施しましたが、主宰メンバーの赤阪美智子さん、梶山洋子さんは「テットーひろばという場とそこに集う人がいたからできた」と振り返ります。



●自然発生的に始まった自主サークル

食に関する有志活動としては、自然発生的に始まった『はたけ部』もあります。もともと2008年頃から活動していた『テットーにわには（野良仕事で遊んじゃおうの会）』を引き継ぎつつ、2014年頃から、土のひろばの小脇で各種野菜の栽培やミニ田んぼでの米づくり、また染め遊びなどを通して、親子で土とのふれあいを楽しんでいます。



2020年度から2年間、パルシステム東京市民活動助成基金の助成を受けて、農具などの備品を揃えて倉庫を建設したほか、ビオトープやたいひ場、ぶどう棚などを新設しました。「都会の住宅街の遊び場にあるちいさな畑と里山づくり」をめざし、地域住民から苗・肥料の提供や助言を受けながら、精力的に活動しています。

●パパたちもつながりたい！

2018年には、父親同士で子育ての話をする機会をつくりたいというパパの思いから『おやじ部』が発足されました。毎月第3土曜日の午後「子育てパパの対話会」を行い、仕事、家庭、夫婦、子育てに関連するテーマを設けて対話を展開しています。女性よりも自らの悩みや本音を語り合うことの少ない男性中心の場だからこそ得られる共感が、参加者の安心感や新たな気づきとなっているようです。



●親子の「やってみたい」があふれる場へ！

テットーひろばには、「こんなことをしてみたい」という思いをもつ人が多く集まります。アイデアは月例ミーティングで話し合いながら、講座やイベント、日常的な有志活動として実現していきます。

この他にもさまざまな例がありますが、他の人たちとこの空間を共有したいという思いが多彩なアイデアを生み、継続的な活動につながっているのだと感じます。運営者と来園者が支援する・される関係性ではなく、ともに場づくりをしていく主体者であることが、テットーひろばが20年間貫いてきた最も重要な理念と実践のひとつです。

★20周年記念事業がスタート！★

2002年4月3日。

野沢3丁目の白い鉄塔の下に、のざわテットーひろばが誕生しました。

2022年4月3日。

のざわテットーひろばは、20歳（はたち）を迎えました。

テットーひろば20年のあゆみを振り返り、

その時その時のテットーひろばを見守り、

今日までバトンをつないでくれたすべての人たちに

「ありがとう」を伝える機会にしたい。

そんな思いから、20周年記念事業をスタートします！

PRO
JECT

1

のざわテットーひろば はたちのバースデードネーションに 挑戦します！

バースデードネーションとは、個人の誕生日や団体の設立記念日といったおめでたい日にあやかって、寄付を集めるクラウドファンディングです。

テットーひろば「はたち」のお祝いに、みなさまからの
あたたかいご支援をお寄せください!!

【期間】 2022年6月1日(水)～8月31日(水)

※状況により予告なく変更する場合があります



PRO
JECT

2

のざわテットーひろば 20周年記念イベントを行います！

テットーひろば20年のあゆみを、歴代のプレーリーダーたちとともに振り返る会
を行うほか、10年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こすよ！

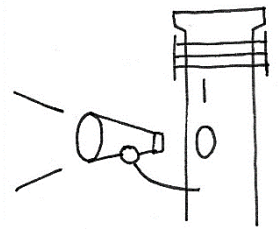
これまでにテットーひろばで遊び、過ごしたみんな集まれ～♪

詳しくは、ホームページ・SNSでお知らせします。

【日程】 2022年7月18日(月・祝) 10時30分～16時00分

【場所】 のざわテットーひろば





★ホームページがリニューアルしました！



2012年より運用していたテットーひろばのホームページですが、「スマホだと見にくい」「イベント情報がどこにあるのか分からない」などの声をいただいていた。

そこで、ホームページリニューアルプロジェクトを約1年かけて進め、昨年9月25日にリニューアル公開となりました。デザインも刷新し、日々の出来事を発信するブログ機能もホームページ内にお引越しとなりました。



来園者や地域のみなさんとのコミュニケーション・発信ツールとなるよう、日々、更新していきたいと思っています。ぜひ、ブックマークよろしくお願いします！

★テットーひろばの代表が交代します！

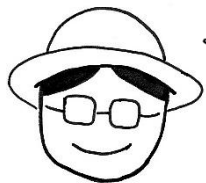
これまで2年間、代表理事としてテットーひろばを引っ張ってきた小澤里穂が退任し、新・代表理事に浜田憲和が就任します。実は、テットーひろばの代表に男性が就任するのは20年の歴史の中ではじめてなんです！

引き続きテットーひろばをよろしくお願いします！

子どもを中心に集った人それぞれが、できることを出し合って作ってきたテットーひろばという場を、これからも子どもを中心に人が集まり続けられる場として、次の人にバトンを繋げるよう、2年間走ります！
お力添えよろしくお願いします！



コロナ禍、スタッフやプレーリーダーと試行錯誤しながら、皆さまに支えていただき、なんとか2年間務めあげることができました。次へバトンをつなぎたいと思います！
本当にありがとうございました！



プレーリーダーのひとりごと

*プレーリーダー：いえもん

テットーひろば開園日にほぼ必ずいる常勤スタッフ5年目。子どもの遊びを見守り、時には一緒に遊び、子どもが自由に遊べる環境づくりをしています。光るどろだんごをいつか作りたいと、いろいろ格闘中。

■雨の日って遊べない？！

「雨が降ってきた！」「お部屋に戻ろう～」そんな声がこだまするテットーひろば。雨に濡れると風邪ひいちゃう！そもそも雨だから着替え持ってきてない！そんなママたちの気持ちとは裏腹に、これまでずっと室内で遊んでいた子どもたちが「外に行きたい！」って言いだす。不思議ですね。

カッパを着て、長靴をはいて、傘をさして、雨のテットーを探索してみると、いつもと違う雰囲気。降り注ぐ雨の音、葉っぱに乗ったしずく、水たまりに落ちて広がる波。晴れているときのテットーとは違う発見があるかも。

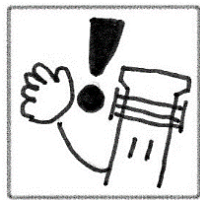
大きな木の下に行くと…、「あれ、雨やんだ？」。木の下って意外と濡れないんだね。でも木を揺さぶってみると、突然の大雨！バタバタと傘をたたく音がまた面白いから、何度もやってしまう。



すると頭の上から鳥の鳴き声。あ、鳥さんも雨宿りしてたんだ。そうしている間に、子どもは傘もささずにずぶ濡れで遊んでる（笑）

禁止事項がなく、子どもたちの『やってみたい』遊びを自由にできるのがテットーのいいところ。おうちでは「ダメ」と言われちゃうけど、テットーに来たらめいっぱい遊んでほしいのが僕の思い。そのために僕たち大人にできることは、子どもたちの遊びを「見守る」ことかなあと思います。

さて今日も雨。でも雨具と着替えを持って、テットーに遊びに来ませんか？



“ささえの手” 募集中！

のざわテットーひろばの運営は、子育て真最中あるいは子育てがひと段落した地域の大人たちの思いと力によって成り立っています。ぜひ、私たちといっしょに地域の遊び場をつくりませんか？



■ささえ手会員（運営会員）でささえる！

イベントの企画からひろば全体の運営など、さまざまなことを毎月のミーティングで話し合います。時には、自分の「やってみたい！」という企画をみんなで話し合いながら、カタチにすることができます。テットーひろばのミーティング・総会での議決権があります。

★年会費： 1口1000円（1口から／うち350円は、ボランティア保険に充てられます）

■気持ちささえ手会員（賛助会員）でささえる！

のざわテットーひろばの運営を資金面から支えます。

★年会費： 1口1000円（2口以上からお願いします）

* 年2回開催する会員限定の交流会や、子育て支援講座などのイベントに会員価格で参加できるなどの特典もあります！ 登録方法など、詳しくはお問い合わせください。



のざわテットーひろば ってなあに？

「地域みんなで子育てしよう！」「子どもたちにもっと自由な遊び場を！」という地域住民の思いで開放された私有地を利用した、地域の遊び場です。子どもたちの「やってみたい！」という遊びが自由にできます。

敷地の中央には「みどりのやね」と呼ばれる小さな家があり、絵本やベビーベッドがあるので、赤ちゃん連れのママ&パパでも安心。乳幼児を中心とした異年齢の子どもが「遊び」を通して関わりあい、生き活きと育ちゆく姿を、親だけでない多世代の大人が見守っています。

★開園日には、プレーリーダーがいます！



いえもん

プレーリーダーは開園日にいつもいる人、“テットーの顔”です。子どもが「やってみたい！」という遊びを見守り、遊びの素材・道具の準備や手入れ、遊具の安全管理など、遊びの環境づくりを中心に行っています。何か分からないことがあったら、プレーリーダーのいえもんにお気軽に声をかけてくださいね♪



★テットーひろばの日常やイベント情報を、各種WEB媒体で発信中！

「初めてのテットーひろば、なんとなく入りづらいなあ…」という方は、まずイベントに参加してみてください。

イベント情報は、ホームページやFacebook、Instagram、LINEなどの各種SNSでも定期的に発信しています！イベント報告や日常のようすなどは、ブログ「テットーひろば de のほほん」を見てね！



のざわテットーひろば

〈運営：NPO 法人野沢3丁目遊び場づくりの会〉

〒154-0003 東京都世田谷区野沢 3-14-22
TEL 03-3418-9950 MAIL info@tettohiroba.org
WEB https://tettohiroba.org
時間 10:00～17:00（11月～1月は16:00まで）
休み 毎週日曜日・木曜日、お盆時期、年末年始

アクセス：東急東横線「学芸大学駅」から徒歩12分
東急・小田急バス「野沢三丁目」「野沢交番前」「駒沢陸橋」「下馬六丁目」から徒歩5分

